



若葉台中学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/wakabadai/>

発行 平成30年3月23日
横浜市立若葉台中学校
学校だより 最終号
校長 岩永 徹
副校長 佐久間桂一

一年間、ありがとうございました

校長 岩永 徹

3月9日、第11回卒業証書授与式を挙行了しました。私は式辞にて、「これからは、自分で責任のとれる行動をしなければいけない、ということを決して忘れないでください。」「本校の卒業生であることを誇りに、将来、お世話になった地域に貢献できる、たくましい大人に成長してくれることを期待しています。」という思いを伝えました。86名の卒業生たちは、たくさんの地域の方々や保護者に見送られながら、立派に巣立っていきました。来賓の方々からは「素晴らしい式だった。」「感動的だった。」「思わず涙がこぼれてしまった。」などのお褒めの言葉をいただき、恐縮です。これもひとえに、子供たちに小さい頃から愛情を注いであげくださった保護者や地域の皆様のおかげであると、深く感謝しております。これからさらに成長していく卒業生たちを、温かく見守っていただけたら幸いです。

本校は、生徒数が減少傾向にあり、現在、全校生徒256名という小さい学校ですが、小さい学校なりのよさがあります。その一つが、全校生徒が卒業式に参加できる、ということです。一、二年生も参加をし、式の感動を共にしました。在校生としてのこの貴重な体験は、来年、再来年に控える自分たちの卒業式に、必ずや生かされることでしょう。

3月23日の修了式をもって、本校の平成29年度は終わります。生徒たちにとっては、学校で一年間過ごした、ということ自体が素晴らしい体験だと思います。程度の差こそあれ、全員が成長した姿を見せてくれています。うれしい限りです。と同時に、一人一人に、まだまだ伸びしろがあります。来年度も、さらにたくましく成長していく姿を見せてくれるものと期待しています。

平成29年度、お世話になりました。本校に関わってくださったすべての皆様に、教職員一同、心より御礼申し上げます。

ありがとうございました。



第11回卒業証書授与式

平成29年度横浜市立若葉台中学校の第11回卒業証書授与式が3月9日に行われ、86名の生徒たちが巣立っていきました。

式の前日の予報では、雨でしたが、始まる前に雨も上がり、暖かな気温の中で肅々と式は行われました。

卒業式では、生徒会長が答辞を読みました。感極まって声を詰まらせながらも最後までしっかりお話ができました。その声に卒業生たちは一人、二人と目に涙を浮かべはじめ、最後には、退場の時には担任も交えみんなで涙を流しながら退場していきました。



「涙・涙・涙の卒業式」



本当に感動的な卒業式に参加できたことに感謝です。会場の保護者の皆様や来賓の皆様方の多くも目をハンカチで覆っていました。これだけ多くの方々を感動させてくれた卒業生の皆さん本当にありがとうございました。そしてこのような子どもたちを育てた保護者の皆さんありがとうございました。最後にいつも子どもたちの見守りを続けていただいている地域の皆様には本当に頭が下がります。これからもよろしく願いいたします。

/4月の主な予定/

- 5日(木) 着任式・始業式/入学式 13:00
- 6日(金) 離任式・身体計測 (生徒登校9:00)
- 9日(月) 学級写真
- 10日(火) 部活動オリエンテーション
- 11日(水)・12日(木)・13日(金)・18日(水) 教育相談
- 14日(土) 授業参観・学級懇談会、部活・学校・修学旅行説明会
- 24日(火)・25日(水)・26日(木)・27日(金) 地域・家庭訪問
- 17日(火) 3年全国学力学習状況調査

お知らせ

来年度より教育委員会の方針により部活動の休日が変わります。

平日は、1週間に1日朝練習、放課後練習の無い日を設けます。

休日は、土日のどちらかをお休みにします。

原則として練習時間は、長くて3時間程度が目安となります。

平成 29 年度学校評価

はじめに

学校は、年度末に職員の反省と評価・保護者の評価・子どもたちの評価・地域の方々の評価をおこない、来年度に向けてより良い教育活動ができるように内容を改善していきます。今年度も色々な角度から評価や反省をいただきました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。今回は、主な項目についての学校評価を掲載させていただきます。詳細については、学校評価報告書を学校のwebでお知らせいたします。

職員による学校評価の考察と来年度に向けて

生徒理解・生徒指導について

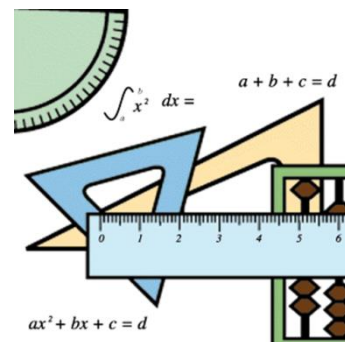
職員の学校評価から多くの教職員が日常的な生徒への声かけや相談活動を積極的に行う意識を大切にし、丁寧に対応することを心がけているところが見受けられる。本校は、小規模校であるが故、学年対応だけでなく学校全体としての情報共有と一貫した生徒理解、生徒指導が必要になってくる。おおむね全体での共通理解のもと生徒指導に当たっていると捉えることができる結果としてでているが、来年度も「報告・連絡・相談」をより大切にし、情報を共有して、誰もが安心して生活できる学校づくりを目指していく。

教育課程・学習指導について

学校として、「授業改善月間」「授業改善討議会」など、授業力を向上させていく機会をもてていると多くの職員は認識している。ただ、個人の授業改善に向けた取組に関しては、それぞれが課題と不安を感じながら取り組んでいるところがある。来年度は、教科会や教科内を利用して教材研究や教材の共有化したり、積極的に授業研究をおこなっていくことで、生徒の課題を見極めたり、教科内での評価の統一性を担保できると考える。また、生徒の課題に対する解決方法などを教科内で話し合うことで、今以上に教員が自信を持って分かる授業展開をおこない、生徒の学習支援をしていくことを期待される。

特別支援教育について

若葉台中学校の教員は、様々な特性を持った生徒に対し個々の課題を理解しようと努める。しかし、現在の特別支援の取組に十分満足し、自信をもっているかという点必ずしもそうではない。来年度は、より計画的、組織的に生徒理解を行い、その生徒に必要な支援を具体的に進めることができる体制の確立に努めていきたい。



保護者アンケートの分析と今後の取組

学校運営について、どの質問に対しても90%以上が、とても思う・思うと回答している。学校の様子を学校便り、学年・学級便り、懇談会、面談等で適切に伝え、開かれた学校のイメージが定着している。子どもの様子から、保護者の90%が学校は楽しいと感じている。特に、行事については94%が充実していると回答し、子どもが活躍している姿を、保護者が直に見ることで高い評価を得ていると考えられる。

保護者から見た子どもの評価について、94%がキャリア教育が適切に行われていると回答しながらも、12%が自分の思いや考えを表現できていない、17%が夢や目標をもって行動できていないと感じている。また、学習面については、36%が家庭学習が不十分だと回答し、年々増えている。生徒理解については、約97%が教職員は熱心に取り組んでいると感じている。

今後の取組は、学習面において、よりていねいな指導が必要だと考える。各教科の授業での工夫はもちろん、家庭学習の大切さや学び方をしっかり教え、定着を図りたい。生徒理解では、生徒に寄り添った相談や指導の質を、さらに高めていきたい。

生徒アンケートの分析と今後の取組

あなたは、友達やクラスの仲間の気持ちを考え、生活していますか。」の問いに対して、9割以上の生徒が「とても思う・思う」と回答している。相手を思いやる気持ちをもって生活している生徒が多いということが分かる。一方で、「あなたは、授業やクラスでの活動などで、自分の考えをみんなに伝えていますか。」という問いに対して、5割近くの生徒が「あまり思わない・思わない」と回答している。若葉台中学校ブロックの課題である思考力・判断力・表現力の向上を今後も取り組んでいく。

「あなたは、前期よりも学校生活を充実できましたか。」に対しては約8割、「あなたは、前期よりも生徒会活動や学級活動、行事をがんばることができましたか。」に対しては8割以上の生徒が、「とても思う・思う」と回答している。多くの生徒が前期よりも学校生活を充実し、成長してきたと考える。しかし、前期より充実できなかった生徒もいることを見逃さず、前向きに物事に取り組むことができるような支援を継続していく必要がある。

学習面については、「あなたは、家でしっかり学習に取り組んでいますか。」に対して、前期よりも高い結果となった。また、「あなたは、前期よりも学習に取り組みましたか。」という問いに対しては、8割以上の生徒が「とても思う・思う」と回答している。前期よりも学習に向き合った生徒が多い結果となったのは、進路選択や進級を意識してきたことがあると思う。その意識をさらに引き出し学習習慣を高めるために、今後もわかりやすい授業をしていくことが重要である。

悩みや相談について、「困ったことがあったとき、先生たちはあなたのことをいつも考えてくれているか」「先生たちは、あなたが良いことをしたり、努力したとき、ほめてくれますか」で、およそ2割の生徒が「そう思わない・思わない」と感じている。生徒一人ひとりの取組を支援し、生徒、保護者の心に寄り添った指導を続けていく。

アンケートの結果をもとに、来年度に向けて、生徒一人ひとりのより良い学校生活を目指して、教師間や生徒とコミュニケーションをしっかりととり、生徒の困り感を見逃さないようにしていく。